

# 東京都美術館 ニュース

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM NEWS



人と作品、人と人、人と場所をつなぐ

# Art Communication

美術館が作品を鑑賞する場にとどまらず、鑑賞を「体験」として、より深める場所になるように、さまざまなアート・コミュニケーション・プログラムを展開しています。  
今回は、「とびらプロジェクト」を任期満了した  
アート・コミュニケータが社会で展開している活動をご紹介します。

The Museum offers art communication programs designed to take visitors beyond simple viewing to a deeper "experience" of the artworks. This time, we look at the "art communicators" (Tobira) who, on completing their term in "Tobira Project," are becoming active players in their own communities.

「とびらプロジェクト」から飛び立った  
アート・コミュニケータたち

都美から外へ  
アート・コミュニティを拡大中!



東京都美術館 × 東京藝術大学  
とびらプロジェクト

東京都美術館を拠点にした「とびらプロジェクト」では、アート・コミュニケータ(愛称:とびら)が3年間の任期で活動しています。プロジェクトのスタートから7年。すでに任期を満了した1~4期のアート・コミュニケータ約140名は、それぞれのコミュニティで活動を展開しています。

In the "Tobira Project," art communicators "Tobira" play active roles at the art museum. Since the project's start, some 140 have completed their terms and are engaging in activities in their own communities.

「とびらプロジェクト」の目指すこと

Aims of the "Tobira Project"

「とびらプロジェクト」は、誰もが誰をも包摂できるしなやかで柔軟な社会基盤「アート・コミュニティ」の構築を目指しています。アートを介し、さまざまな人々の多様な価値観を結びつけるアート・コミュニケータがその担い手となります。

The "Tobira Project" aims to build a flexible social foundation "art community" where people in society respect each other's people and subsume each other. Art communicators that connects people's diverse values through art is the player of that role.

団体名 アプリシエイトアプローチ

Appreciate Approach Association

『『BENTO おべんとう展』  
ファシリテータ運営』

Thematic exhibition "BENTO-Design for Eating, Gathering and Communicating" management and operation for facilitators



撮影: 中島佑輔

1~4期のメンバーを中心に活動する「一般社団法人アプリシエイトアプローチ」、略してアプ。アートの鑑賞を創造的な活動ととらえ、「みること・体験すること」を軸に活動を展開しています。「BENTO おべんとう展—食べる・集う・つながるデザイン」(会期:7月21日~10月8日)開催期間中、会場でのファシリテータ運営を担い、とびらと一般公募で集まった約150名のファシリテータとともに展覧会を盛り上げます。8月20日に開催された、子どものための特別な日「キッズデー」のマネージメントも担いました。

団体名 knock-knock

knock-knock

「ミュージアムに行こう」

"Let's Go to the Museum" program management



撮影: Shun Onozawa

1期、2期のメンバーを中心に、2014年に始まった活動です。とびらの活動の中から生まれた、「アートを介した社会支援」の構想を引き継ぎ、児童養護施設の子もたちを対象とした鑑賞ワークショップ「ミュージアムに行こう」を開催。アーツカウンシル東京、子どもゆめ基金などからの助成も得て、美術館・博物館をはじめ、さまざまな文化施設にも活動の場は広がっています。

団体名 ヨリミチミュージアム

Yorimichi Museum

「ヨリミチミュージアム」

"Stopping by the Museum" program management



2016年に始まったワークショップ「ヨリミチミュージアム」。とびらプロジェクトでの活動「ヨリミチビジュツカン」を前身に、その活動が引き継がれています。「ふらっと寄り道する気軽さでミュージアムを楽しもう」をコンセプトに、六本木の森美術館など、さまざまなミュージアムで開催。アート・コミュニケータとともに展覧会を味わい、後半はお茶やお酒を楽しみながら鑑賞の体験を振り返るという、2部構成のプログラムが人気です。

団体名 アート・コミュニケータ東京

Art Communicator Tokyo

「障害のある方のための  
特別鑑賞会」

"Special Day for People with Disabilities" facilitator



2015年に活動をスタートした「アート・コミュニケータ東京」。1期のメンバーを中心に立ち上がった任意団体で、とびらを任期満了した多くのメンバーが加入しています。「障害のある方のための特別鑑賞会」では、とびらとともに準備から当日までプログラム全般に関わっています。コアメンバーを中心に「NPO法人アート・コミュニケーション推進機構」、愛称PARC(パーク)を2018年1月に設立。幅広く展開するアート・コミュニケータたちの活動もサポートしています。

「とびらプロジェクト」の概要・詳細はウェブサイトへ

とびらプロジェクト 🔍

<http://tobira-project.info>

1978年5月、東京都美術館の企画展示室ロビーにて、14世紀イタリアの祭壇画の再現模写を制作した石原靖夫氏を招き、制作過程や絵画技法に関する解説が行われた。1975年の新館開館を機に、東京都美術館は美術教育活動を柱のひとつに据え、美術講座や公開制作、講演会等の実施に力を入れてきた。写真が伝えるとおり、解説会は熱心な観客を集め、後方の人のためのモニターを用意するほどの盛況を博した。

(東京都美術館 学芸員 小林明子)

In May 1978, ISHIHARA Yasuo, who reproduced a 14th century Italian altarpiece, was invited to give an informative talk on painting processes and techniques, in the Exhibition Room lobby. After opening in a new museum building in 1975, the Tokyo Metropolitan Art Museum took art education activities as an important pillar and began holding art courses, art production demonstrations, and lectures. As this photograph shows, an eager audience gathered for the informative talk. Such was its popularity, a monitor was provided for people in the back rows.

(KOBAYASHI Akiko, Associate Curator)



シモーネ・マルティニーニ《受胎告知》の再現模写に関する解説会（1978年撮影）

Informative Talk on Reproducing Simone Martini's *Annunciation* (photographed in 1978)

## 東京都美術館 ニュース No.457

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM NEWS

発行日 2018年9月30日  
発行 東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
企画・編集 東京都美術館 広報担当  
デザイン 株式会社ファントムグラフィックス  
翻訳 アムスタッツ コミュニケーションズ  
印刷・製本 株式会社ルナテック

©Tokyo Metropolitan Art Museum

東京都美術館  
〒110-0007  
東京都台東区上野公園8-36  
Tel 03-3823-6921  
Fax 03-3823-6920  
公式サイト  
<http://www.tobikan.jp>  
Twitter  
tobikan\_jp  
Facebook  
TokyoMetropolitanArtMuseum

表紙の  
写真

エドヴァルド・ムンク《叫び》1910年？ オスロ市立ムンク美術館蔵  
Edvard Munch, *The Scream*, 1910?  
© Munchmuseet